

調査報告4：森林資源を使ったアート（おもちゃ美術館）～国内での事例～

おもちゃ美術館とは：NPO 芸術と遊び創造協会が展開する地域の木材を中心とした環境・文化・暮らし・経済・子育てなどを推進する交流施設です

実例

東京都檜原村：檜原森のおもちゃ美術館

おもちゃ美術館ゾーン (有料)

1階

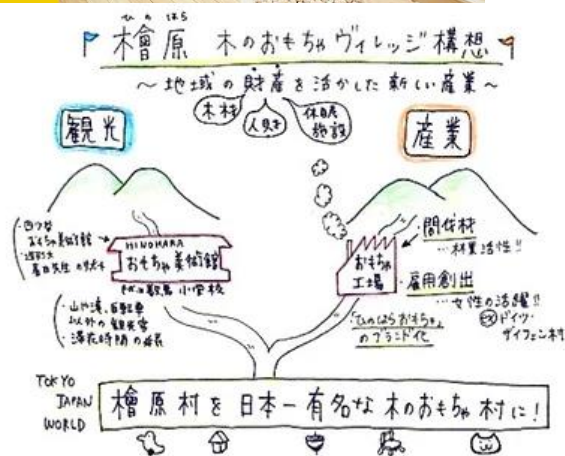
山があり、森があり、川が流れ、まちがある。まるで小さな檜原村。野菜や果実、きのこの収穫ごっこをしたり、木工室で木のおもちゃを作ったり、楽しみ方は無限大！

※木工室は種別日に実施後の予約制となります。
必ず予約ができるわけではありません。



2階

おもちゃ美術館に隣接するおもちゃ工房で作られた木のおもちゃで遊べるスペースや、おもちゃの企画展示、3歳未満の赤ちゃんが遊べる木育ひろばがあります。



1984年檜原小学校に統合され、廃校となった旧北檜原小学校があった場所に、2021年、新しく「檜原森のおもちゃ美術館」として生まれ変わる

出所：[檜原森のおもちゃ美術館 HP](#)

四国内のおもちゃ美術館



[讃岐おもちゃ美術館](#)



[徳島木のおもちゃ美術館](#)

新設の道の駅で 木育・植育・職育に取り組む

さかわ木のおもちゃ美術館 (仮称)

高知県佐川町

2023年に開設予定の道の駅との一体構想で誕生するおもちゃ美術館。「木育」に加えて、「植育」「職育」をコンセプトに掲げています。植物のまちならでは、草花に親しむ心を育てる空間を設けるとともに、自伐型林業に従事する若者たちとも連携した「職育」プログラムも構想しています。



出所：
[芸術と遊び創造協会 HP](#)